

令和4年5月25日

令和3年度 特別の教育課程の実施状況等について

栃木県		
学 校 名	管理機関名	設置者の別
足利市立坂西北小学校	足利市教育委員会	公立

1. 特別の教育課程を編成・実施している学校及び自己評価・学校関係者評価の結果公表に関する情報

学 校 名	自己評価結果の公表	学校関係者評価結果の公表
足利市立坂西北小学校	https://www.city.ashikaga.tochigi.jp/soshiki/a95/	https://www.city.ashikaga.tochigi.jp/soshiki/a95/

2. 特別の教育課程の内容

(1) 特別の教育課程の概要

本市全小学校において、平成15年度より取り組んできた英会話学習の内容と外国語活動・外国語科の内容を関連づけた独自の年間指導計画を作成し、「話すこと」「聞くこと」に特化した指導を行うことで、英語によるコミュニケーション能力の育成を図る。

必要となる教育課程の基準の特例については、「【教育課程特例校】特別の教育課程の実施状況等について（足利市）」を参照。

3. 特別の教育課程の実施状況に関する把握・検証結果

(1) 特別の教育課程編成・実施計画に基づく教育の実施状況

- 計画通り実施できている
- ・一部、計画通り実施できていない
- ・ほとんど計画通り実施できていない

(2) 保護者及び地域住民その他の関係者に対する情報提供の状況

- 実施している
- ・実施していない

(3) 自校における評価

【評価の観点】

- ・第1学年からの英会話学習の実施が、英語によるコミュニケーションの基礎的な能力の育成につながっているか。
- ・第1学年からの英会話学習の実施は、英語に慣れ親しむことにつながっているか。
- ・第1学年からの英会話学習の実施によって、外国語や外国の文化に対する興味・関心が高まっているか。

【評価】

第1学年からの英会話学習の実施が、英語によるコミュニケーションの基礎的な能力の育成につながっているか。

- ・第1学年より、身近な英単語や英語表現について学んでいるため、高学年で相手とコミュニケーションをとったり、プレゼンテーションをしたりする際にスムーズに学習を進めることができた。
- ・他教科の授業、給食、休み時間、掃除等できる限りALTやEAAと子供たちがコミュニケーションをとれる時間を確保したことが、英語に慣れ親しむことにつながっている。

第1学年からの英会話学習の実施は、英語に慣れ親しむことにつながっているか。

- ・歌やゲーム等を通して、楽しく授業で学ぶことができている。子供たちの多くが英語を話すことに抵抗が無くなってきている。

第1学年からの英会話学習の実施によって、外国語や外国の文化に対する興味・関心が高まっているか。

- ・ALT、EAAの出身国や家族の紹介を写真を用いて行ったことが日本と外国との文化の違いを理解することにつながった。

(4) 学校関係者による評価

<児童>

【評価の観点】

- ・英会話学習についての意識。
- ・ALTやEAAとの活動についての意識。
- ・英会話学習における児童の変容について。

【評価】

英会話学習についての意識

- ・歌やゲームが楽しい。
- ・友達と英語を使って話すのが楽しい。
- ・ハロウィンやクリスマスなど、季節や行事に合わせた内容で勉強できるのが楽しい。

ALTやEAAとの活動についての意識

- ・先生が優しく、楽しく教えてくれるから良い。
- ・自分の知らない外国の話を知ることができて楽しい。

英会話学習における児童の変容について。

- ・自分のことについて、簡単な英語を使って話せるようになった。
- ・生活場面で、外国語の方が話しているのを聞き、意味を理解することができた。
- ・外国の方に簡単なあいさつができるようになった。

<保護者>

【評価の観点】

- ・第1学年からの英会話学習の実施が、英語によるコミュニケーションの基礎的な能力の育成につながっているか。
- ・第1学年からの英会話学習の実施は、英語に慣れ親しむことにつながっているか。
- ・第1学年からの英会話学習の実施によって、外国語や外国の文化に対する興味・関心が高まっているか。
- ・その他、第1学年からの英会話学習の実施に期待すること等。

【評価】

第1学年からの英会話学習の実施が、英語によるコミュニケーションの基礎的な能力の育成につながっているか。

多くの保護者が、「英語によるコミュニケーションの基礎的な能力の育成につながっている。」と感じている。英語による実践的なコミュニケーションの能力向上が求められていることがわかった。

分かりやすく、楽しく学んでいる英会話学習を通じて、児童の協調性を含むいろいろな心情面での成長を促していると保護者が感じていることもわかった。

第1学年からの英会話学習の実施は、英語に慣れ親しむことにつながっているか。

多くの保護者が、「英会話学習の実施は、英語に慣れ親しむことにつながっている。」と感じている。児童が楽しく取り組んでいる様子を通して、慣れ親しんでいると感じていただいていることがわかった。

また、ALT や EAA との英会話学習、担任の英会話学習児の子供たちへの認め励ます関

わりによって、英語への興味や関心を引き出し、さらに高めることができることがわかった。

第1学年からの英会話学習の実施によって、外国語や外国の文化に対する興味・関心が高まっているか。

保護者からは、「家でも英語で話したりしている。」「日本とは違う外国の文化を楽しめると思うのでよいと思う。」など、肯定的な意見が多かった。

その他、第1学年からの英会話学習の実施に期待すること等。

- ・意味が理解できていなくても、耳から英語が入ってくることを楽しんでいるだけでも、英語に触れるという意味では良いと思う
- ・遊び感覚で英語に親しみ、前向きな気持ちで英語を学べるようになってほしい。
- ・たくさんの英語を話せるようになってほしい。

4. 実施の効果及び課題

効果

- ・毎時間、歌やゲームで英語に楽しく慣れ親しむことができとても楽しく活動できた。
- ・行事や季節に結びつけた活動を取り入れながら外国の文化にもふれ、外国に対する関心も高めることができた。
- ・「話すこと」「聞くこと」だけではなく、「読むこと」「書くこと」の活動も段階的に取り入れることができた。
- ・他教科の授業、給食、休み時間、清掃活動等できる限りALTやEAAと子供たちがコミュニケーションをとれる時間を確保したことが、児童が英語に慣れ親しむことにつながっていると考える。

課題

- ・打ち合わせの時間が十分に確保できていない。時間の確保が理想的だが、他の業務のために打ち合わせができないこともある。
- ・毎時間、児童の授業に対する振り返りを行い、次時への学習内容検討や児童の評価に生かせるようにしたい。
- ・課題の工夫をすることで、児童が「言いたいこと」「したいこと」でコミュニケーション活動を行うことができるような授業づくりをしていきたい。

5. 課題の改善のための取組の方向性

- ・短い時間ではあるが、休み時間や授業の前後などに打ち合わせを確実にし、担任、ALT、EAAで授業の進め方や役割分担を確認することで、よりよい授業プランを考えていくようにする。
- ・児童の英会話によるコミュニケーション活動を促すため、クラスルームイングリッシュを教室に掲示したり、担任自身も英語を使うよう心がけていきたい。

- ・学年に合わせた振り返りカードを作成したり、授業での活動の様子を把握したりするなど評価方法をより具体化していく。